

消防団たずね歩き



地域に根付いた消防団



北消防団山田支団
本団分団長
田中敏彦

北消防団山田支団は、11分団、6班で構成され、実員300人(4月1日現在)の団員が日夜消防活動をおこなっています。

管轄区域である山田町は、北区の南西に位置し、緑豊かな自然環境に恵まれた農村地域と新興住宅地域が混在しています。分団、班の詰所については、東は北神急行谷上駅近くの「上谷上」から、西は箱木千年家のある「^{みくぼら}衝原」、そして、南は「鈴蘭台」に至るまで14カ所設置されています。さらに昭和30年代後半からの宅地開発に伴い、住宅地管轄区域は、北東側は有野町に接する西大池、南西側は長田区、須磨区に接するひよどり台までの広範囲に及んでいます。

●林野火災に対する警戒

今年、山田支団管轄内で出動したなかで、3月8日の「中地区」の建物火災が特に印象に残っています。現場は、丹生山・帝釈山の麓に広がる山中で、地元の者でもわかりにくい場所での火災発生となりました。消防のヘリコプターが上空を飛びまわり、煙が上がっているのが見えていたのですが、火災現場までなかなか到着することができません。また現場まで消防署の大型車両

が入って行けるような道ではなく少し難航しました。そこで威力を発揮したのが消防団の積載車です。小型動力ポンプで溜池から給水し、数百メートルにも及ぶホースを連結させて、消防隊と連携して消火活動をおこないました。幸いにも大規模な火災に至らずに鎮火し、林野火災を未然に防ぐことができましたが、今後も引き続き林野火災に対する警戒の強化を徹底していかなければならないと痛感しました。

●文化財防火デー消防訓練

管轄内には、農村歌舞伎舞台、箱木千年家など貴重な文化財が数多くあります。

1月には、「文化財防火デー」に伴う訓練として、国指定重要文化財「箱木千年家」で、北消防署、衝原分団、坂本分団、山田防災福祉コミュニティが参加して、合同訓練を実施しました。

今回の訓練を通じて地域組織間の連携をさらに深め、地域防災力の向上を図り、消防団活動をおこなっていきたく考えています。



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

